

木質床（フローリング）用オイルフィニッシュ

オリオ2のメンテナンスについて

オリオ2は、木質感をそのまま生かして仕上げるオイルフィニッシュ用ウレタンオイルであり、一般に使用されている油性系（酸化反応乾燥タイプ）オイルフィニッシュと違って、基本的にポリウレタン樹脂塗料と同じ塗膜構造のものが木材中に含浸して、しっかりとガードするものです。従って、塗膜そのものの耐久性は沸騰水にも白化せず、またシンナー類にも侵されないなど優れたものがありますので、苛酷な条件下で使用される木質床（フローリング）の塗装に最適です。しかしながら素材が木材のため、日々のお手入れの際に水拭き掃除や水性ワックスを使用し続けた場合、フローリングそのものが水分を吸収し膨れ上がり・暴れ・床鳴り等のクレーム原因となりますのでこれらは使用にならないよう御注意下さい。

オリオ2施工後のメンテナンス（維持管理）については、一般的な住宅などの室内木床（軽歩行）の場合は、殆どワックスがけなど必要のないいわゆるメンテナンスフリーの扱いとなります。もちろん、日頃のお手入れとして市販の化学雑巾等で乾拭きしたり、また飲食物の汚れなど乾拭きで取れない汚れの場合は、中性洗剤入りの水で固く絞った雑巾をお使いになる事は問題ありません。

ただし、学校・店舗・介護施設など室内重歩行の場合は、塗膜的に過酷な条件のためメンテナンスが必要となりますので下記の方法をお勧めします。

周期的なお手入れとして、オリオ2クリヤー（透明）塗装の場合は、木質床塗装面を十分に掃除した上でワックス掛けをして下さい。（オリオ2のしっとり感を損なわないような光沢の出にくい米糠・蜜蝋等のワックスを使用して下さい。）

ワックス掛けは通常一ヶ月に一回程度ですが、必要に応じて増やして下さい。また、オリオ2着色（ステイン）塗装の場合は、オリオ2メンテナンス用フィニッシュの中へエコオリオステインを適宜混合着色したものか、予めカジュアルステイン着色をするかして、色のハガレの補修を同時に行なって下さい。

塗面のダメージが大きい場合（半年～一年経過）は、オリオ2の塗り替えが必要です。

クリヤー仕上げ（無着色）の場合は、塗面（木床面）を軽くサンダー研磨した後にオリオ2塗装します。（翌日には歩行可能となります。）

また、ステイン着色仕上げの場合はサンダー研磨が出来ませんので、バフ研磨とし、オリオ2着色塗装します。

塗り替えの時期は、現場の状態の判断にもよりますが、早めに再塗装を実施することで常に木目を生かした美しい仕上がりが保持されます。

キャピタルペイント株式会社

大阪府高槻市若松町8番10号 TEL 0726-72-7330 FAX 0726-72-7336
千葉県野田市岩名1-7-14 TEL&FAX 0471-29-2004

Homepage <http://www.capitalpaint.jp/>

E-mail Capital1@sirius.ocn.ne.jp